

勝浦市議会だより

みんなのギカイ

2018年 第165号 平成30年3月定例会の内容をわかりやすくお知らせします。

対談!

特集記事 勝浦ダイビング協会と市議会

特集記事（対談）	2・3P
新年度予算概要	4・5P
審議結果（トピックス）	6～8P
委員会活動等	9・10P
一般質問	10～13P
きみの未来、あなたの未来	14P
議会のうごき 編集後記	

平成30年5月
勝浦市議会報
編集委員会
0470-73-6662

特集記事

勝浦ダイビング協会 と 市議会

特集記事第15弾は、勝浦ダイビング協会のみなさんとの対談です。

さて、今回はどのような意見が飛び出すでしょうか？



一年を通じてダイビングでき、きれいで豊かな海。

この魅力いっぱい海の海をもっと全国にPRしてほしい。

【勝浦ダイビング協会とは、どのような団体ですか？】

勝浦ダイビング協会は、新勝浦市漁業協同組合からダイビング事業の業務委託を受け、鵜原と行川で行っています。鵜原の「勝浦ダイビングクラブ」と行川の「行川ダイビングサービス」をメインとして6つのショップが協力しながら協会を構成しています。

【具体的に、どのような活動をされていますか？】

主に首都圏からのお客さまに、ダイビングスクール、体験ダイビング、シユノーケリングやガイドなどの活動をしています。ダイビングのタンクの貸出し、船の手配、あとは海の環境を維持する作業もしています。

その他には、情報発信として「かつら魅力市」にブースを出店、東京で開催されるダイビングイベントに参加

して勝浦の豊かで美しい海の紹介をしています。

【活動していて大変なことは？】

ダイビングが出来るように整備しなければならぬので、海中にガイドロープ、船を着けるブイの設置をするのですが、外洋だけあって時化（しけ）ると傷んだり、外れたりします。そのメンテナンス作業は大変です。特に外れてしまった時は漁師さんに迷惑がか

からないように直ぐに回収するようにしています。

その他には知名度の低さが課題です。一般的には海のレジャーは8月いっぱいまで終わりますが、実は8月くらいから海水温が上がってきます。そこからダイビングシーズンがスタートする感じですか。5月より12月の方が海水温は高いです。勝浦の海は冬でも大変美しく、魚種も豊富で、夏のシーズンだけでなく、1年中潜れます。そんな所は他にはなく、勝浦だけなので、もっと知名度を上げたいと思います。各シヨップのインターネットのホームページやフェイスブック、ダイビングフェアや雑誌に広告を載せているのですが、あまり効果がないのが残念です。

【皆さんが考えるこの地域の課題はなんですか？】

人口の減少。特に若い世代が減っていると聞いています。子どもを育てていくにあたって子どもを遊ばせる場所が増えたら良いなと思います。

【地域活性化のために考えている事はありますか？】

ダイビングやサップをはじめとする海のマリンスポーツやマリンスジャーを紹介できるアンテナシヨップが首都圏にあったら良いなと考えます。そこでダイビングやスタンドアップパドルの予約や海の状態、勝浦の紹介や案内ができればと思います。そうすればダイビング等を目的に勝浦を訪れる人も増え、ダイビングインストラクターになりたくて移住や定住を考える人も増えるのではないかと思います。

【市議会の印象や議員に望むことは？】

近寄りやすいという印象です。今までなかなか話す機会がなかったので、緊張しました。スーツではなく普段着で来てほしかった。しかし、色々話をさせていただいて意外と話しやすいと思いました。今後も勝浦の海の素晴らしさと海のレジャーを前面に出して勝浦をPRしてほしいと思います。



福永 順司 会長



金澤 圭祐 さん



黒崎 俊輔 さん



宮崎 崇 さん



上野 貴則 さん



藤城 和男 さん

対談に応募してみませんか？

対談を希望される団体の方は、議会
報編集委員会までご連絡ください。

勝浦市の新年度予算が決まりました！

平成30年度の新年度（当初）予算が3月定例議会にて可決承認されました。

当初予算とは、その年度の骨格、つまり勝浦市の本年度財政の基本となる予算であり、市の一年間を方向付ける重要な予算です。市民の皆さんから納めて頂いた税金の使い道を、予算審査特別委員会、本会議などで慎重に審議し、すべての予算案が賛成多数で可決されました。

一般会計予算は92億2,000万円で、前年度比2.7%の増額となりました。

特別会計予算は60億6,271万円で、前年度比12.5%の減額となっています。

今後も、限られた予算の公平かつ有効な配分を図ると共に、無駄を省く事で経費の削減に努め、健全財政の確保と柔軟な財政運営の実現を目指しています。

一般会計予算

92億2,000万円

特別会計予算

60億6,271万円

予算総額

152億8,271万円

会計別予算の内訳

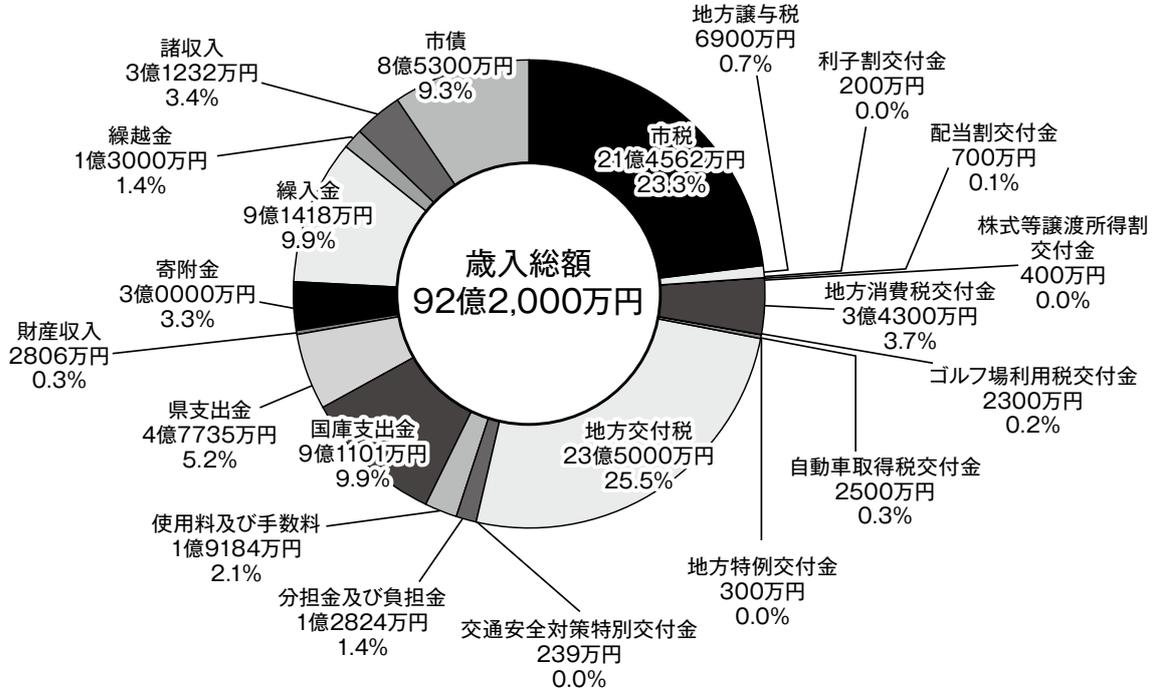
会計区分	当初予算額		増減率	説明	
	平成30年度	平成29年度			
一般会計	92億2,000万円	89億7,600万円	2.7%	市の基本的な仕事をするための会計です	
特別会計	60億6,271万円	69億2,890万円	△12.5%	特定事業を行う場合に一般会計と区分して経理をする必要があるときに設ける会計です	
特別会計の内訳	国民健康保険(事業勘定)	25億6,927万円	31億9,368万円	△19.6%	被保険者の疾病、負傷、出産、死亡などに際して、必要な保険給付を行うための会計です
	国民健康保険(直営診療施設勘定)	7,278万円	6,288万円	15.7%	勝浦診療所において、被保険者などに診療を行うための会計です
	後期高齢者医療	2億6,627万円	2億5,659万円	3.8%	主に75歳以上の方を対象とした後期高齢者医療制度の保険料を徴収する事務などを行うための会計です
	介護保険	21億5,773万円	23億8,225万円	△9.4%	被保険者の要介護度などに応じて、必要な保険給付を行うための会計です
	水道事業	9億9,665万円	10億3,350万円	△3.6%	市内に給水をするために行う水道事業の会計です
合計	152億8,271万円	159億490万円	△3.9%		

※予算額は、千円単位を四捨五入して表示しました。

一般会計歳入

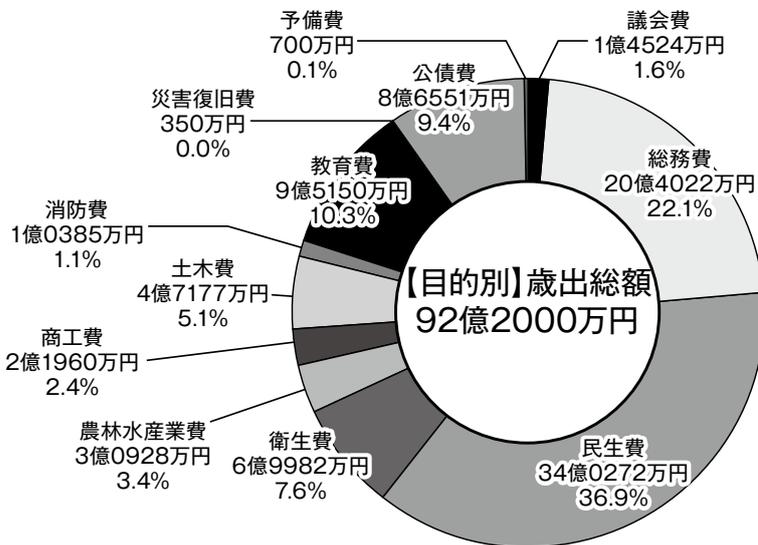
納税義務者の減少等で年々減額傾向にあります。太陽光発電施設の設置などによる固定資産税収入が増加する見込みであることから、前年度比で5,480万円の増額を見込んでいます。また国・県支出金やふるさと納税寄付金等を活用し、市債の無理な借り入れを行わず、健全な財政運営を心がけています。

※金額下の数字は構成比をパーセントで現しています。



一般会計歳出(目的別)

歳出については、昨年に引き続き、福祉政策・医療費助成等に係わる民生費が最も大きい割合を占めています。道の駅整備事業などを含む地方創生総合戦略に関わる事業を主とする総務費も大きな割合を示していますが、過去の市債の返済費が市財政のうちどのくらいの比率となるかを示す実質公債費の比率は、平成28年度決算見込みで7.7%（早期健全化基準は25%）となっているなど、勝浦市の財政はその健全性を保っていると言えます。



平成30年3月定例会 審議結果

勝浦市議会ではこんなことが決まりました！

○3月定例会 会期 2月26日から3月15日まで18日間

●今回審議された議案

市長提出議案	・	26件
議員提出議案	・	1件
陳情	・	4件
請願	・	1件
諮問	・	1件
合計	・	33件

※審議案件一覧表は、8ページに掲載しています。



議会報は、議会で審議された全ての議案の中から、市民生活と深く係わる議案をいくつか取り上げて重点的にお伝えしています。
審議された全議案については、勝浦市ホームページをご覧ください。事務局までお問い合わせください。

●トピックス その1

教育長に岩瀬好央氏が決まりました。

議案第二十六号 勝浦市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて

藤平益貴教育長が平成30年3月31日をもって退職されることに伴い、後任に岩瀬好央氏を任命にすることについて、議会の同意を求めたところ、全会一致で同意されました。



退任された
藤平 益貴 教育長

平成24年10月より、勝浦市教育委員会教育長に在職



任命された
岩瀬 好央 教育長

住所 御宿町久保1348番地11
昭和36年10月7日生

大原中学校教諭、勝浦中学校教諭、北中学校教諭、西中学校教頭、興津中学校校長、東上総教育事務所次長、南房総教育事務所所長等を歴任

●トピックス その2

JR外房線の利便性向上と安全性確保を
求める意見書を全会一致で決議しました。

発議案第一号

JR外房線の利便性向上と安全性確保を求める意見書について

平成30年3月17日実施のダイヤ改正において、外房線・勝浦駅から茂原駅間の5本の列車の削減が予定され、外房線利用者の利便性が大きく損なわれるだけでなく、商業・観光にも影響をあたえる状況に対し、請願が採択されました。それに伴い、意見書を決議し、東日本旅客鉄道株式会社千葉支社長あてに次の3項目を強く要望しました。

1. 公共性のある鉄道会社として、地域経済基盤の維持と住民生活の利便性確保に配慮した運営を心がけること。
2. ダイヤ改正により変更となる5本のダイヤを復元すること。
(記載の詳細は省略)
3. 駅及び駅周辺の防犯上の問題に対応し、安全面の確保に努めること。

●トピックス その3

勝浦市消防団条例が改正されました。

議案第二十号

勝浦市消防団条例の一部を改正する条例の制定について

今回の条例改正は消防団員の資格及び用語を見直すためのもので、主な改正内容は以下の通りです。

① 資格要件の見直し

これまで本市に居住することが資格要件でしたが、本市に居住する者若しくは勤務する者又は近隣に居住し消防団活動を行うことができる者と認められる者に改正されました。具体的には、市内在住者以外に市内在勤者や近隣に在住であっても有事の際に現場に駆け付け活動ができる方が消防団員となることができるよう資格要件が拡大されました。

② 用語の見直し

第11条の条文中の「召集を招集に変更されました。改正された勝浦市消防団条例は本年4月1日より施行されます。



●審議案件一覧

◎全会一致

○賛成多数

×賛成少数

結 果	議案番号	件 名	付託委員会
承認◎	議案第 1 号	専決処分の承認を求めることについて (勝浦市税条例の一部を改正する条例の制定について)	
承認◎	議案第 2 号	専決処分の承認を求めることについて (平成 29 年度勝浦市一般会計補正予算)	
可決◎	議案第 3 号	一般職の職員の給与等に関する条例及び勝浦市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
可決○	議案第 4 号	特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
可決○	議案第 5 号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
可決◎	議案第 6 号	平成 29 年度勝浦市一般会計補正予算	
可決◎	議案第 7 号	平成 29 年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算	
可決◎	議案第 8 号	平成 29 年度勝浦市後期高齢者医療特別会計補正予算	
可決◎	議案第 9 号	平成 29 年度勝浦市介護保険特別会計補正予算	
可決◎	議案第 10 号	平成 29 年度勝浦市水道事業会計補正予算	
可決◎	議案第 11 号	勝浦市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	産業厚生 常任委員会
可決◎	議案第 12 号	勝浦市農地中間管理機構関連農地整備事業に係る特別徴収金に関する条例の制定について	産業厚生 常任委員会
可決◎	議案第 13 号	一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教 常任委員会
可決◎	議案第 14 号	勝浦市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生 常任委員会
可決○	議案第 15 号	勝浦市国民健康保険条例及び勝浦市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生 常任委員会
可決○	議案第 16 号	勝浦市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生 常任委員会
可決○	議案第 17 号	勝浦市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生 常任委員会
可決◎	議案第 18 号	勝浦市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について	産業厚生 常任委員会
可決◎	議案第 19 号	勝浦市地域包括支援センター条例の一部を改正する条例の制定について	産業厚生 常任委員会
可決◎	議案第 20 号	勝浦市消防団条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教 常任委員会
可決○	議案第 21 号	平成 30 年度勝浦市一般会計予算	予算審査 特別委員会
可決○	議案第 22 号	平成 30 年度勝浦市国民健康保険特別会計予算	予算審査 特別委員会
可決○	議案第 23 号	平成 30 年度勝浦市後期高齢者医療特別会計予算	予算審査 特別委員会
可決○	議案第 24 号	平成 30 年度勝浦市介護保険特別会計予算	予算審査 特別委員会
可決○	議案第 25 号	平成 30 年度勝浦市水道事業会計予算	予算審査 特別委員会
同意◎	議案第 26 号	勝浦市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	
可決◎	諮問第 1 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	
採択◎	請願第 1 号	J R 外房線の利便性及び安全性向上に関する請願	
継続審査◎	陳情第 1 号	住民の健康増進と 2020 東京オリンピック・パラリンピックにむけて受動喫煙防止条例の早期制定を求める陳情	
継続審査◎	陳情第 2 号	県民の健康増進と 2020 東京オリンピック・パラリンピックにむけて「千葉県受動喫煙防止条例の早期制定を求める意見書」の提出について	
継続審査◎	陳情第 3 号	勝浦市における、受動喫煙防止対策に関する陳情	
継続審査◎	陳情第 4 号	受動喫煙防止対策についての陳情	

●議員提出議案

結 果	議案番号	件 名	付託委員会
可決◎	発議案第 1 号	J R 外房線の利便性向上と安全性確保を求める意見書について	

各常任委員会・特別委員会等の活動報告

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会に議案（条例2件）請願1件が付託され、審査の結果、議案2件及び請願1件については「挙手全員」で原案可決・採択となりました。

最終日の本会議において、総務文教常任委員長からの審査結果報告後、採決を行い、全会一致により「可決」及び「採択」となりました。

なお、請願の採択により、最終日に「発議案第1号」R外房線の利便性向上と安全性確保を求める意見書について」が総務文教常任委員長を提案者に委員を賛成者として提案され、全員賛成で可決され、意見書を関係機関へ送付しました。

産業厚生常任委員会

産業厚生常任委員会に議案（条例8件）陳情4件が付託され、審査の結果、議案8件については「挙手全員」で原案可決となりました。

最終日の本会議において、産業厚生常任委員長からの審査結果報告後、採決を行い、議案15号、16号、17号の3件については賛成多数で、ほか5件については全会一致により「可決」となりました。

なお、陳情の審査において、関連する4件については、国や県の動静を見ながら慎重に審議する必要があることから、継続審査を「挙手全員」により決し、最終日の本会議において、産業厚生常任委員長からの審査結果報告後、議長に対し継続審査の申し出を行い、全会一致により「継続審査」となりました。

なお、3月8日の委員会終了後、元大原高等学校若潮キャンパス校舎に、4月から移転する中央保育所の仮園舎の現地視察を行いました。



【現地視察（中央保育所）】

勝浦市議会議員政治倫理審査会

平成30年1月17日に設置された政治倫理審査会は、当該審査対象議員が2月23日付けで辞職をしたことを受け、審査を終了し解散しました。

予算審査特別委員会

平成30年度一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計及び水道事業会計5会計の予算等を審査するため、6人の委員による「予算審査特別委員会」を設置しました。

3月9日、12日及び13日の3日間にわたり審査し、一般会計については賛成多数で、4特別会計については全員賛成で原案のとおり可決すべきものとして本会議に委員長から報告され、可決されました。

なお、一般会計予算においては、道の駅整備事業費の計上に伴い反対討論、賛成討論がありました。また、議案第20号 平成30年度一般会計において、歳出予算の審査にあたり元興津中学校及び元北中学校の現地視察を行いました。



【現地視察（元北中学校）】

◆予算審査特別委員会委員

委員長	鈴木	克己
副委員長	久我	恵子
委員	磯野	典正
	末吉	定夫
	土屋	元
	松崎	栄二

3月2日

戸坂	藤本	鈴木
健一	治	克己
議員	議員	議員

- ①平成30年度予算編成における重点施策について
- ②農林水産業振興と農地の流動化対策等規制緩和について
- ③介護、福祉対策について
- ①国保の都道府県単位化について
- ②第7期介護保険事業計画について
- ③水道料金の2段階での引き下げについて
- ①津波避難訓練の充実について
- ②消防団サポート制度の導入について
- ③「先進コンテンツ技術による地域活性化促進事業」の活用について

3月1日

照川由美子	佐藤	久我
議員	啓史	恵子
議員	議員	議員

- ①交流によるまちづくりについて
- ①住みよい市をめざすための「移住・定住促進」と「交通の利便性の確保」について
- ②自然環境を生かす「勝浦市ならではの子育て」と「勝浦市ならではの教育」への取り組みについて
- ①大型店舗開店に伴う位置情報活用商圈調査について
- ②健康増進事業について
- ③災害時学校における自助、共助について

3月1日・2日の2日間、市政全般について一般質問が行われました。



一般質問の記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。全文は、勝浦市議会会議録をご覧ください。また、インターネット録画配信でもご覧いただけます。



久我恵子議員

大型店舗開店に伴う 位置情報活用商圈 調査について

Q ベイシア開店に伴い地元商店街など市内の商業施設への影響を調査するためスマートフォンを活用した調査を実施するとの事ですが、どのような調査であるのかお聞かせください。

A ベイシア開店後、市内外の消費者が通常の買い物先を選択し終えたころの7月又は8月からの3ヶ月間、市内外の商業施設を10力所ほど選定し、消費者の流れをつかむ。それにより市内の商業施設に不足しているものは何なのか問題点を把握し、それに対する方針を検討。調査内容は必要に応じて、商工会等へ説明

会の実施を考えている。

健康増進事業について

Q 勝浦奉仕会協同組合のマイカードポイントを健康増進事業のインセンティブとして付与するとの事ですが、付与する事業と時期についてお聞かせください。

A 事業としては特定健診を初めとする各種健診、イベント時の健康相談を含む保健指導、勝浦いきいき元気体操等。実施時期は6月の特定健診からと考えている。

災害時学校における 自助について

Q 児童・生徒が学校滞在時に大津波等が想定された場合、保護者への引き渡しはせず、学校等に留め置き、警報解除まで待機するよう指導が進んでいます。その場合の個々の児童の食料や飲料水の備蓄を自助の努力として

保護者に提案してはと思うが、市としてのお考えをお聞かせください。

A 災害時における自助の観点での児童・生徒の備蓄水、備蓄食料については教育大綱及びアクションプランに組み入れてある。6月には宮城県石巻市で被災され語り部活動をされている方に被災地の映像や実際の避難所での様子をお聞きし、防災意識を高めた上で自助での備蓄をお願いしたい。さらに各学校の避難訓練の見直しや訓練の充実、そして学校防災の日を新たに設定したい。



16歳の語り部

友好都市交流



佐藤啓史議員

Q ①友好都市交流の今後の進展は？②海外都市と友好都市を結ぶ考えは？

A ①友好都市締結から15周年を迎え、「交流から協力、そして相互の産業支援へ」協力関係を深めたい。②海外都市との交流の気運が高まっていくれば、前向きに検討したい。

全国勝浦サミット

Q 全国には「勝浦」の地名が残る自治体が9自治体あります。(佐藤啓史調べ)。そこで全国勝浦サミットを開催し、交流を推進してはどうか？
A 現段階では考えていない。

国際交流

Q ①国際交流の目的や必要性は？②これまでの取り組みは？また現状と課題は？③国際交流協会の設立を提案しますが？

A ①国際化は産業の振興のみならず垢抜けたまちづくりに必須であり、児童・生徒の学習、国際感覚の涵養などの面からも必要と考える。②中学生の海外派遣やALT招聘、アジアを中心とした訪日教育旅行の受入も増加している一方、社会人層の国際交流は少ないと認識している。③具体的な交流の話が出てくれば検討したい。

歴史文化交流

Q 養珠院お万の方と関係のある自治体との連携・交流により、歴史をテーマとした交流ができるのでは？
A 本市の貴重な史実を

対外的に発信するため、関係自治体との連携・交流は必要だ。

Q ハーマン号事件と関係のある熊本藩、津軽藩(現在の熊本県、青森県)、アメリカ合衆国との交流の考えは？

A 来年は事件後150年目を迎えることから関係自治体と情報を共有し、次世代に継承していくよう連携を図りたい。

Q 江戸時代興津港は仙台藩の重要な中継港であり、仙台役所も置かれていました。興津海浜公園には、当時の繋船柱が残っています。そこで仙台藩(仙台市)との交流を進めてはどうか？
A 考えていない。

訪日教育旅行

Q 訪日教育旅行の実績は？
A 平成26年度から17校666名が本市を訪れている。



照川由美子議員

『移住定住促進と交通の利便性の確保』について

Q 若い世代の流出対策や定住促進に向け、どのように取り組むか？

A 働く場の確保等に努め、義務教育においては故郷を学び愛する「郷育」に力を入れ、補助制度や保育・教育制度の拡充を検討する。国際武道大学生には、定住への誘導提案等が必要と考える。

Q 行川アイランド跡地に計画しているリゾート施設の進捗状況は？

A 県において自然保護部会での審議・答申を経て公園事業の決定が行われ、手続きが順調に進めば本年の秋頃には事業執行に至ると見込んでいます。200人〜300人

程の雇用創出や観光客誘致、地場産業の活性化等に期待し、一層の支援を図る。

Q JRのダイヤ改正に対する市の対応は？

A 県及び沿線自治体共同でJRとの会合の場を設けたが、要望活動だけでは立ち行かない局面を迎えたと認識している。地方の生活必需路線は、たとえ不採算路線であっても維持・堅持するよう法律改正の要望も視野に、国・県・近隣と連携し交渉を行っていく。

『勝浦ならではの子育てと教育』について

Q 力を入れて推進していく子育て支援策は？

A 会議室を改修し「子育て世代包括支援センター」を開設。妊娠から出産・育児までの総合的な相談に対し切れ目のない支援に尽力する。

Q 勝浦の豊かな自然環境を生かした特色ある子ども園づくりは？

A 山林や畑を生かし、野外活動や栽培活動等を展開できるよう工夫し、季節に応じたプログラムを編成していく。

Q プールでの水泳指導から海浜実習への取り組みの導入は？

A 中学校プール建設に合わせて、地域・国際武道大学と連携を図り、協議していく。

Q 勝浦市教育委員会に指導主事の配置は？

A 三十年度より学校教育指導員を一名増員し、新指導要領にそった研修体制等、指導行政の充実を図る。



JRダイヤ「改正」



鈴木克己議員

平成30年度予算編成における重点施策について

Q 予算編成の重点的な施策と対応する予算付けの視点は？

A 産業振興・企業誘致、交流人口拡大、移住定住の促進、子育て支援・教育環境の向上を重点目標とした。

Q 生産年齢人口の減少による市政への影響をどのように分析しているか？

A 生産年齢人口の減少に比例し個人住民税の減少が見込まれることから、さらなる観光客等交流人口の拡大とともに、既存産業振興策の一層の推進と起業・創業や新産業の創出支援に取り組む。

農林水産業振興と農地の流動化対策等規制緩和について

Q 5年前に質問し、市長答弁で研究するとのことであったが何ら結果の無い農地取得に係る別段の面積の設定について、近隣市町では既に引き下げている。勝浦市として

も緩和対応を行う必要があると思うが見解を示さなりたい。

Q 近隣市町の現状等の事例を農業委員会に示し、下限面積変更の必要性について協議する。

Q 道の駅の設置を踏まえた農林水産物の販売促進、勝浦産品のブランド化、第6次産業化を含めた新たな商品開発等に対する事業支援、販売促進策についての具体的な対応は。

A 鮮度に優れた地元産品を供給するよう生産基盤の強化が不可欠。現在、

ほ場整備を推進している名木・木戸、大森、大楠の3地区での転作作物の産地化を進めている。豊富な品揃えで集客を図るには、特産品を掘り起こし商品化することも必要なため、引き続き商品化等の事業を推進する。

介護、福祉対策について

Q 現行の障害者福祉タクシー事業を、高齢者や要介護認定者等も対象とした福祉タクシー事業に拡充することに対し、新たな高齢者福祉計画の中でどのように検討されたか伺う。

A 高齢者の移動手段の検討を考えている。福祉タクシーの拡充というところで今後も引き続き検討する。



藤本治議員

国保の都道府県単位化

Q ①県から示された標準保険税額が10万円を超えた要因は何か。②今回創設される保険者努力支援制度は12の指標の採点に応じて予算を配分する仕組みですが、収納率の向上への配点はいくらか。③給付費の現行50%の公費負担割合を60%に回復するよう国、県に求めよ。④均等割引き上げを元に戻すとともに、第3子以降の均等割は全額免除すべき。

A ①過年度分の交付金精算額が県平均より一人当たり4千円多いため。②収納率向上への配点は790点満点中、1000点。③全国市長会で要望する。④第3子以降の均

等割免除は国の支援制度がなく考えていない。

第7期介護保険事業計画について

Q ①過去6期の介護保険料の推移と第7期計画の特徴は。②介護保険料滞納者の実態は。③介護保険財政における公費負担割合を現行5割から6割に引き上げるよう国、県に求めるべき。

A ①平成12年度からの第1期基準額は年額2万7千500円。以後、給付費の増加により保険料が上昇。第7期は高齢者人口は減少するものの要介護認定者は増加すると見込まれ基準額を6万3千600円と示した。②2年以上の滞納者が42人いますが、サービス利用に制限は行っていない。③介護保険料の右肩上がりは事実ですが、国の制度ですので動向を注視したい。

水道料金の引き下げ

Q ①2市2町での広域化基本構想の概要と覚書の締結に進むことを市民に知らせることが必要。

②平成36年をめどとする事業統合による水道料金の引き下げの前に、可能な財政規模と期間をあてて2段階で料金引き下げを行うべき。

A ①関係する市町と歩調を合わせ対応する。②市の財政を考えると事業統合までに限った一般会計からの繰り出しは難しい。



水道料金の引き下げを

Q 少子高齢化が進行する中、地域防災の要である消防団の活動は年々厳しさを増している。消防団サポート制度は、市が作成・交付したステッカーやのぼりをサポート店に掲示し、消防団員証を提示することで、団員やその家族が料金割引等の特典・サービスを得られるサービスである。団員はもとより、サポート店側も新規顧客の開拓や、地域貢献の店としてPR出来るなどメリットが成り立つ。勝浦市においてもこの制度の導入と、団員証の交付をすべきと考える。市のお考えは如何か。

A 消防団員へのサポート制度は勝浦市消防団条例に抵触する可能性があることから、調査検討していきたい。消防団員証の発行については必要性があるため検討する。



戸坂健一議員

消防団サポート制度の導入について

津波避難訓練の充実について

Q 勝浦市では東日本大震災の教訓を踏まえ、年に一度、大津波を想定した津波避難訓練を実施している。しかし残念ながら現状では参加者も少なく、訓練時間も短く、運営や訓練方法にも改善が望まれる。

充実した訓練の実施に向けて、消防団安全管理マニュアルや千葉防災ガイドに則った実践的で厳しい訓練をすべきでは。

A 実践的な訓練実施に向けて、住民への参加周知や、各団体との連携強化を図っていく。

防災管理監の登用に

Q 大規模災害以外にも核災害の多様化や激甚化、弾道ミサイル対処など新たな危機への対処が必要。勝浦市の防災体制を強化するために、国の防災マネージャー制度を利用し、防災の専門家である危機監視監を登用しては。

A 防災管理監は幅広い防災業務への対応ができることから、登用の必要性を感じている。登用について前向きに検討する。



九都府合同防災訓練の様子

きみの未来、あなたの未来



勝浦中学校 3年
小西 翼さん
こにし つばさ

私の将来の夢は、まだ具体的には決まっていません。けれども、人を笑顔にすることのできる仕事に就きたいと考えています。笑うことには、大きな力があるそうです。ある研究によれば、笑うことでガン細胞が消えたり、色々な病気にかかりづらくなるという結果もあるといわれています。だから私は、多くの人を笑顔にすることがとても大切なのではないかと考えています。

将来、そんな仕事のできる人になるために、私は今、勉強をがんばっています。得意教科だけではなく、苦手な科目でも、黒板をしっかり写したり、先生が説明してくださったことを自分なりにメモしたりすることで克服するよう努力しています。

また、普段の生活では、自分自身がいつも笑顔でいるように心がけています。笑顔の人がいると、場が和むからです。将来、みんなを笑顔にする力を持った大人になれるよう、私は今できることを精一杯がんばっていきたくと思っています。



議会のうごきについて報告します (平成30年2月～平成30年4月)

議会のうごき

2月2日	議会報編集委員会	3月1日・2日	本会議 一般質問
5日	全国高速自動車道市議会議長会総会(東京都)	5日・6日	本会議 質疑
7日	勝浦市総合開発審議会	7日	総務文教常任委員会
9日	千葉県自治体病院経営都市協議会行政視察 (千葉市立青葉病院)	8日	産業厚生常任委員会
13日	黒船「ハーマン号」慰霊祭	9・12・13日	予算審査特別委員会
14日	千葉県後期高齢者医療広域連合議会定例会 (千葉市)	15日	本会議 最終日 議会運営委員会 議会報編集委員会・議会改革検討委員会
15日	南房総広域水道企業団運営協議会(大多喜町)	22日	学校給食協同調理場運営委員会
16日	国民健康保険運営協議会	24日	いすみ鉄道30周年式典
16日	勝浦市水道事業運営審議会 環境審議会	29日	和歌山県新宮市行政視察
21日	議会運営委員会 政治倫理審査会	4月6日	春の全国交通安全運動出動式
23日	夷隅郡市広域市町村圏事務組合議会定例会 (いすみ市)	11日	議会改革検討委員会
26日	3月定例会 本会議 全員説明会・議会改革検討委員会	16日	観光振興議員連盟役員会
27日	本会議	19日	千葉県市議会議長会定期総会(千葉市)
		20日	赤十字奉仕団総会
		23日	全員説明会・議会改革検討委員会
		24・25日	関東市議会議長会定期総会(桐生市)
		27日	千葉県南部地区議会道路整備協議会役員会

編集後記

いつも「議会だより」をお読みいただき有難うございます。

今回は、平成30年度予算審議の内容を中心に掲載いたしました。限られた紙面ですが、読みやすく、分かりやすく心掛けて紙面づくりに努めました。皆様よりのご意見、ご感想をお待ちしております。

議会報編集委員 土屋 元

お問い合わせは、勝浦市議会報編集委員会(73-6662)まで

勝浦市ホームページ <http://www.city.katsuura.lg.jp>



QRコードは
ここだよ!

勝浦カッピー

